

- 1 主題名 友だちと助け合って 中2-(3) 【友達と互いに理解し、信頼し、助け合う】
資料名 マラソン大会 (大阪書籍)

2 主題について

- このような価値の追求を

本主題は、「友達との間に信頼と友情及び助け合いの精神をもった児童を育てようとする」内容項目を受けたものである。

よい友達関係を築くには、互いを認め合い、様々な場面での学習活動や生活を通して助け合い、理解し合い、信頼感や友情を育てることが大切である。友情をはぐくむためには、まず、互いの気持ちや考えを理解し合う必要がある。相手への理解が深まってくると、互いにより深く信じることができるようになってくる。そうすると、友達関係において、信頼感が生まれ、安心して互いが自分の本心を語り、相談できるようになる。そして、相談を受けると、相手を助けたいという気持ちが生まれてくる。互いのよさを発揮して、助け合うことができれば、互いに向上し、友情を深めることができる。このように、互いに理解し、信頼し、助け合うことを繰り返すことにより、深く友情をはぐくむことができる。

この段階においては、生活や学習における様々な場面において、向上し合う健康的な仲間集団を積極的に育成していかなければならない。そのためには、友達が自分にとって、心の大きな支えになっていることや、友達の大切さに気付かせる必要がある。そして、自分もよりよい友達でありたいと思うように指導することが大切である。

そこで、本主題では、何事にもがんばるときは、友達の励ましやアドバイスが心の大きな支えとなることに気付かせたい。そして、友達にとって、自分もよりよい友達でありたいという思いをもたせ、友達と互いに助け合おうとする意欲を高めていきたい。

- このような子ども達だから

本学級の子ども達は、学級や全校などで、いろいろな友達と関わる機会を多くもつことができる。みんな大変明るく元気があり、何事にも意欲的に取り組んでいる。休み時間には、遊び係が中心となって、全員で仲良く遊んでいる。学習においては、自分が得意なことを生かして、友達に教える姿も見られる。算数のわり算では、計算が得意な子どもが苦手な子どもにやり方を教え、正確に計算できるように励ます姿が見られた。また、図工では、早く仕上がった子どもが、まだがんばっている子どもにのこぎりや金づちの使い方を教えたり、板を押さえたりして手伝っていた。2学期に入り、心のノートを参考にし、「やりとげられたら金メダル」という取組を行っている。自分でやりたいことを決め、その状況を毎日、朝の会で確認している。他にも、音楽の楽器演奏において友達と協力する姿が見られるようになった。

そこで、気の合う友達同士で仲間をつくって活動するなど、集団での活動が盛んになるこの時期に、友達と共に向上し合うことや友達と互いに助け合おうとするものの大切さについて考えていくことは意義深い。

- 資料をこのように活用して

本時の中心資料「マラソン大会」は、走るのが苦手なさおりが主人公である。マラソン大会を控えたさおりは、走るのが得意なナミと一緒に練習するよう頼む。さおりは、ナミに励まされながら、練習を重ねる。ある日、さおりは、ひじを後ろに引っ張るようにすると走りやすいことに気づき、そのことをナミに教え、ナミももっと速く走れるようになる。マラソン大会の日、さおりは笑顔でゴールインしナミと両手をパチンと合わせるという内容である。

指導にあたっては、まず、苦手なマラソン大会を控え、不安なさおりの気持ちやナミに励まされながらがんばるさおりの気持ちを共感的にとらえさせたい。次に、自分の助言によって速く走ることができるようになったナミを見たときのさおりの気持ちについて共感的にとらえさせていきたい。最後に、笑顔でゴールインしたさおりの気持ちを中心に、ねらいとする道徳的価値の把握を図りたい。

そして、自分の生活の中で、友達と助け合ったからがんばることができたことを振り返り、道徳的価値の内面的自覚を図りたい。

3 本時のねらい

何事もがんばるときには、友達が大きな心の支えとなることに気付き、友達と互いに助け合おうとする態度を育てる。

4 本時指導について

学校の諸活動との関連【事前】	ねらい	友達と励まし合い、助け合うよさに気付かせる。
	手だて	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の諸活動において、ねらいとする姿を見つけたら、その姿のよさを伝え、賞賛する。 ○ 「すてきな心を見つけよう」で自分や友達と一緒に活動してよかったことについて記録させる。

発達段階に応じた語り合い【心がわかる】	ねらい	主人公さおりとナミのよい友達関係は、互いに助け合い、励まし合い、一緒に喜び合うことで築かれていることに気付かせる。
	内容	ナミと両手をパチンと合わせたさおりの気持ちについて
	手だて	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二人組での役割演技 <ul style="list-style-type: none"> ・ 二人のよい友達関係に気付かせるために、まず、さおり役とナミ役になり、それぞれの気持ちを考えながら演技させる。次に、役割を交代させて演技させる。そして、全体の前で役割演技をさせる。 ・ 自分の考えが強まったことや疑問に思ったこと聞いてみたいこと、語り合ってるほどと思った友達の考えについて互いに発表させ、ねらいとする道徳的価値の自覚を深めさせるようにする。

いきいきとした振り返り【心はたらく】	ねらい	友達と助け合ったからがんばることができたことを振り返る。
	関連する諸活動とその内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心のノート「やりとげられたら金メダル」の取組と、朝の会での発表。 → 友達が励ましてくれたから、竹馬に乗ることができ、竹馬で運動場1周することができるようになった。 ○ 音楽「曲の気分をかんじとろう」 → 友達がアドバイスをくれたので、打楽器を工夫して演奏できた。 ○ 体育「跳び箱」 → 跳び箱の練習を一緒にした友達も私も、跳び箱の8段を跳ぶことができて喜び合った。
	手だて	全員が自分の経験を発表できるように、隣り同士やグループで自分の経験を出し合わせる。

5 準備

資料「マラソン大会」(大阪書籍) 道徳ノート 挿し絵
本「ともだち」(谷川俊太郎作)


6 展 開

段階	主な学習活動と内容	教師の支援や手だて	期待する子どもの反応・発言
心 が う ご く	<p>1 紹介された本をもとに、自分の経験を想起し、本時学習のめあてについて話し合う。</p> <p>めあて 「友だちっていいな」と思う心は、どんなときにふくらむか考えよう。</p>	<p>○ 友達っていいなということを感じさせるため『ともだち』という本の一部を紹介する。</p>	<p>○ 紹介された本や自分の経験について発言したり、友達の発言にうなずいたりしている。</p>
心 が わ か る	<p>2 資料「マラソン大会」を通して、友達とがんばるときの心について話し合う。</p> <p>(1) 教師の範読を聞く。</p> <p>(2) ナミに息の仕方を教えてもらったさおりの気持ちについて話し合う。</p> <p>「これならくるしくないわ。ナミちゃん、ありがとう」と言ったさおりは、どんな気持ちだったでしょう。</p> <p>(3) もっと速く走れるようになったナミを見たさおりの気持ちについて話し合う。</p> <p>速く走れるようになったナミを見たさおりは、どんな気持ちだったでしょう。</p> <p>(4) 笑顔でゴールインし、ナミと両手をパチンと合わせたさおりの気持ちについて語り合いをする。</p> <p>ナミと両手をパチンと合わせたさおりは、どんな気持ちだったでしょう。</p> <p>①道徳ノートに書く。 ②二人組の役割演技をする。 ③全体で話し合う。</p>	<p>○ さおりとナミが互いに励まし合ってきたことをとらえさせるため、練習中のさおりやナミの言葉を黒板に位置付けていく。</p> <p>○ さおりの気持ちに共感させるために、教師がナミ役になり、問いかける。</p> <p>○ さおりの気持ちに共感させるために、教師がナミ役になり、肘を引っ張るように走る動作をし、それを見て発表させる。</p> <p>○ さおりの気持ちをじっくり考えさせるために、道徳ノートに記述させる。</p> <p>○ さおりの気持ちを共感的にとらえさせるために、二人組で役割演技をさせる。そして、全体の前で2～3組に役割演技をさせる。</p> <p>○ 道徳的価値の自覚を深めるために自分の考えが強まったこと、なるほどと思ったことを発表させる。</p>	<p>○ 主人公の気持ちを共感的にとらえながら発言したり、友達の発言を聞いたりしている。</p> <p>主人公になりきって ・息の仕方がわかったぞ。 ・またがんばってみよう。 ・ナミちゃん教えてくれてありがとう。</p> <p>主人公になりきって ・ナミちゃんがもっと速く走れるようになってうれしい。 ・ナミちゃんの役に立てた。 ・よし、わたしもがんばろう。</p> <p>主人公になりきって ・ナミちゃんが励ましてくれたから最後まで走れたよ。 ・二人ともがんばったね。 ・これからも一緒にがんばろうね。</p>
心 が は た ら く	<p>3 友達と助け合ったからがんばることができたことを振り返る。</p> <p>友達と助け合ったからがんばることができたことを振り返りましょう。</p> <p>4 教師の話聞き、今後の生活への意欲を高める。</p> <p>○ 中学時代に友達から励まされ、助けられたこと</p>	<p>○ 友達と助け合ったからがんばることができたことを全員が言えるように、グループや全体で発表させる。</p> <p>○ 双方向の友情を感じさせるため、教師の中学時代の友達にも話をしてもらう。</p>	<p>・私が教えて、友達が打楽器の演奏が上達したのを見て、私もうれしくなりました。</p> <p>・友達と励まし合いながら跳び箱を練習して二人とも台上前転ができるようになったので二人で喜び合った。</p> <p>○ 教師や教師の友達の話を聞き、友達っていいなという考えを深めている。</p>

7 板書計画

A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for writing lesson plan notes.

8 道徳ノート

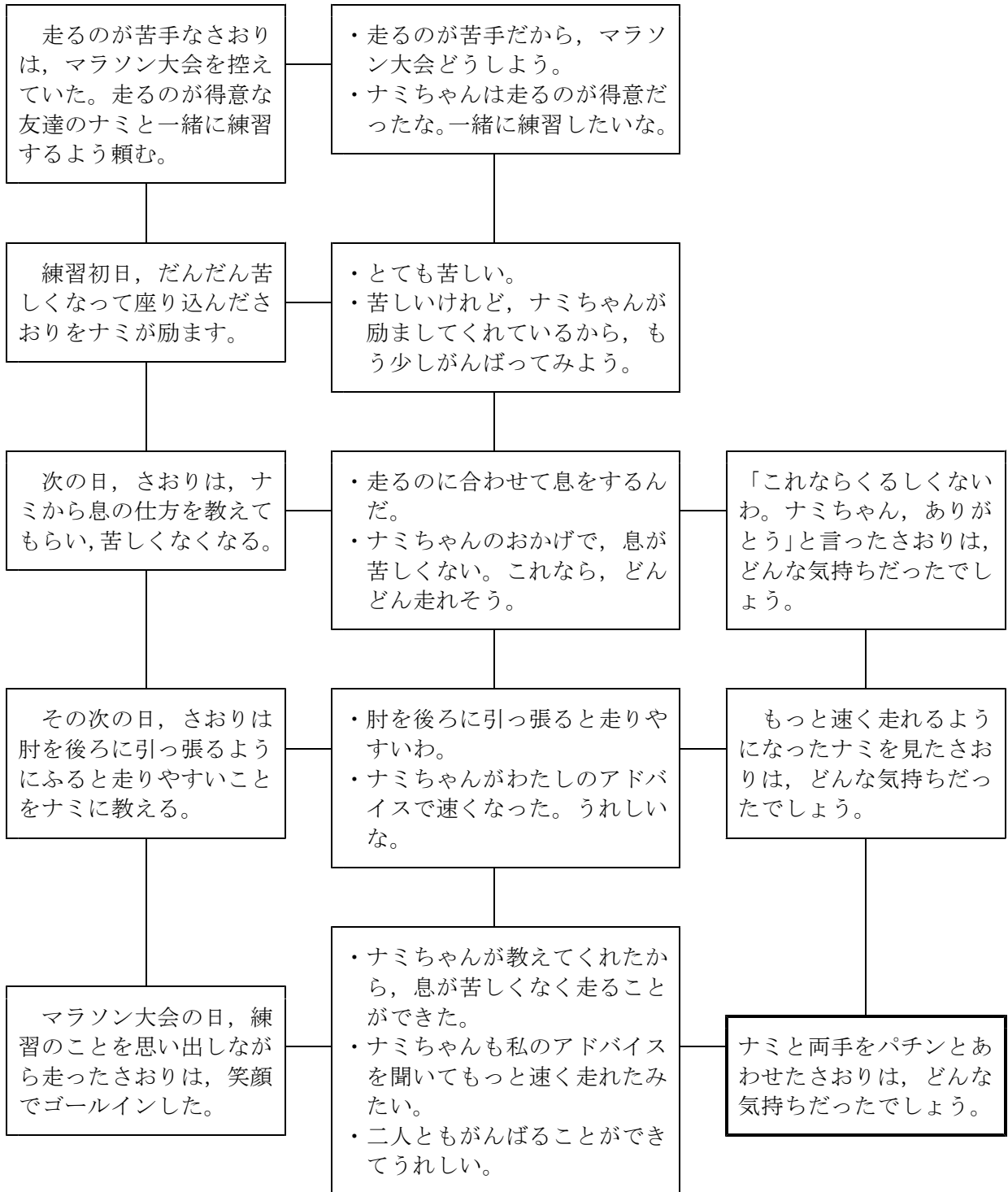
A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for writing moral notes.

9 資料分析

[場面]

[人物の気持ち]

[主な発問]



- 2 -

- 1 -

- 4 -

- 3 -